

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年2月9日(2022.2.9)

【公開番号】特開2020-124359(P2020-124359A)

【公開日】令和2年8月20日(2020.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-033

【出願番号】特願2019-18430(P2019-18430)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月1日(2022.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者に有利な特定遊技を実行するか否かに関する乱数抽選の結果を表示可能な第1表示手段と、

遊技実績に基づく複数の特定情報を表示可能な第2表示手段とを備えた遊技機において、

前記第2表示手段による実行時間を計時するための第1情報を記憶する第1情報記憶領域と、前記第2表示手段による表示内容の切替周期を計時するための第2情報を記憶する第2情報記憶領域とを備え、

電断復帰を含む電源投入後に、第1のタイミングで前記第1情報記憶領域の前記第1情報を初期設定する第1処理と、前記第1のタイミングとは異なる第2のタイミングで前記第2情報記憶領域の前記第2情報を初期設定する第2処理とを実行し、

前記乱数抽選の結果を表示する際に前記第1表示手段に第1コマンデータ信号を出力し、前記特定情報を表示する際に前記第2表示手段に第2コマンデータ信号を出力し、前記第1コマンデータ信号と前記第2コマンデータ信号とを、共通のコモンカウンタを用いて共通の出力回路から出力する

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

遊技機の不正改造を防止するためには、従来のように不正改造の手段を物理的に遮断する方法の他、性能に関する特定情報を遊技実績に基づいて取得し、所定の特定情報表示手段に表示することにより、不正改造が行われたか否かを容易に判断できるようにすることが考えられる。

50

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、特定情報表示手段への特定情報の表示をより好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技者に有利な特定遊技を実行するか否かに関する乱数抽選の結果を表示可能な第1表示手段と、遊技実績に基づく複数の特定情報を表示可能な第2表示手段とを備えた遊技機において、前記第2表示手段による実行時間を計時するための第1情報を記憶する第1情報記憶領域と、前記第2表示手段による表示内容の切替周期を計時するための第2情報を記憶する第2情報記憶領域とを備え、電断復帰を含む電源投入後に、第1のタイミングで前記第1情報記憶領域の前記第1情報を初期設定する第1処理と、前記第1のタイミングとは異なる第2のタイミングで前記第2情報記憶領域の前記第2情報を初期設定する第2処理とを実行し、前記乱数抽選の結果を表示する際に前記第1表示手段に第1コモンデータ信号を出力し、前記特定情報を表示する際に前記第2表示手段に第2コモンデータ信号を出力し、前記第1コモンデータ信号と前記第2コモンデータ信号とを、共通のコモンカウンタを用いて共通の出力回路から出力するものである。

10

20

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、特定情報表示手段への特定情報の表示をより好適に行うことが可能である。

30

40

50